

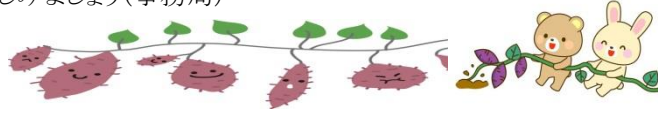
嬉野地区地域コミュニティだより

令和5年11月15日発行

秋も深まり、朝晩が一段と寒くなってきましたね。そろそろ寒さ対策で、暖房の準備をされているご家庭もあるかと思います。体を動かす時期にはちょうど良い季節かも知れませんね。秋は食べ物も美味しく頂けるし、紅葉も楽しめる季節です。12月(師走)に入ると慌ただしくなってくるので、この秋の季節を楽しみましょう(事務局)



芋掘り



今年も嬉野小学校1年生による「芋掘り体験学習」がありました。6月に芋の苗を植え、10月26日(木)に収穫の時期を迎えました。嬉野地区地域コミュニティの活動部員を始め、ボランティアの皆さんの協力により、収穫までの暑い中(約4ヵ月間)水やり、草刈、ツル返しをおこないました。また、今年は猪対策として学校側の協力により、畑の周りに金網を張りました。昨年より少し芋の量は少ない様でしたが、子どもたちは歓声をあげながら掘り、楽しい一日だったと思います。この間、学校側の校長先生を始め、各担任の先生及びコミュニティ活動部員またボランティアの皆さん、本当にご協力有難うございました(青少年育成部会)



文化祭

嬉野中学校では、第77回文化発表会が10月15日(日)に開催し、1年生は「郷土を知る」2年生は「地域で働く人の思いや願いを探ろう」3年生は「郷土に生かす」等をテーマに各学年発表を①～⑤項目のプログラム順で発表していました。③ロボコン⑤合唱コンクール等が人気があったようです(青少年育成部会)



運動会

第77回嬉野小学校運動会
《大会スローガン》
一生懸命で 心の炎よ燃え上がり
150年目の運動会



裏面もあるよ



嬉野地区地域コミュニティ
事務局長 大久保周生
電話 0954-42-3961

地域ライブラリー No10

嬉野地区地域コミュニティ
運営協議会 会長 北川 泰則
地域づくり部会 木寺 英二
令和5年11月

地域住民で祀り続ける六地藏

六地藏保存会の説明文によると、六地藏塔は室町時代の初期頃に各地に建立された地藏信仰のひとつで、お地藏さまはお釈迦様がこの世を去り、次に弥勒菩薩がこの世に出現するまでのあいだ、救いを求める衆生をもらすことなく救済するため、絶えず六つの世界を巡っているといわれています。この辺の言い伝えによると湯宿、野島通りに伝染病が蔓延したときも誰一人とて倒れた人がいなかったといわれています。そんな慈悲深い六地藏さまをととても身近な存在として、現在も広く多くの方が信仰されています。六地藏保存会ではこの六地藏さまを、毎年旧暦七月二十四日に六地藏祭りを行い祀り続けています。

場所は野島通り、瑞光寺跡です。日々、地域の方で献花されており、令和五年九月八日午後六時半より瑞光寺住職による法要を執り行い、同保存会の皆様や一般の通行の方々も参拝されていました。以前からの風習でお酒や焼きそば、煮豆などの接待も行われていました。



袋詰めした煮豆

